

## 特色・アピールポイント！

- ベンチャー企業からの様々な相談に対応
  - 自社製品に対し、複数の臨床医からの意見が欲しい
  - 臨床ニーズを臨床現場で確認したい
  - 治験実施に向けた医学的アドバイスが欲しい
- 人材育成プログラムを通して起業家育成、ベンチャー創出を支援
- アカデミア発ベンチャーに対し、開発資金獲得を支援
  - 本学のオンラインラボ@UCSDを活用した、海外投資家とのマッチング
  - AMED事業獲得支援
- 異分野の専門家とのネットワーク構築の場を提供
  - イノベーションハブ京都(IHK)交流会等の開催



## 1. ベンチャー支援機能の強み・特徴

- 臨床現場見学、学術指導の充実
  - ・当院34診療科の協力を得て、臨床現場見学(ICU含む)受入れ及び学術指導実施体制を整備
  - ・先端医療研究開発機構によるコーディネートのうえ、企業の要望に合わせて、医療従事者との意見交換、術場見学等が可能
  - ・京大病院の医療従事者の解説のもと、全手術室における術中動画について後日視聴が可能
- 起業家人材育成プログラム
  - ・医療ヘルスケア領域における起業家人材育成プログラム(HiDEP)を提供
  - ・企業人・学生・研究者など多様なメンバーからなるチームで、医療ヘルスケア・ビジネスモデルを構築
- インキュベーション施設
  - ・医学研究科が運営するインキュベーション施設「イノベーションハブ京都(IHK)」を提供

## 2. 支援内容の紹介

- 京都大学ライフサイエンスショーケース@UCSD
  - ・日本国内のアカデミア発のスタートアップ企業が、研究開発中の医療シーズ・技術を紹介し、米国内での資金調達や提携の機会を協議するマッチングイベントと教育セミナーを開催。  
(2024年2月26日-27日実施、11社発表)
  - ・本年度もサンディエゴで開催予定(2025年2月19-20日)



## 3. 支援実績

● ベンチャーが関与する支援実績	● HiDEP受入れ実績	● UCSDショーケース	● IHK交流会開催実績
2024年度 18件	2024年度 14名	2024年度 募集予定	2024年度 4回
2023年度 17件	2023年度 25名	2023年度 11社	2023年度 5回
2022年度 18件	2022年度 6名	2022年度 14社	2022年度 6回
2021年度 16件	2021年度 31名	2021年度 16社	2021年度 6回
2020年度 11件	2020年度 未開講	2020年度 18社	2020年度 12回

## 4.ベンチャー支援の流れ

窓口  
受付

- まずは、相談窓口のHPへアクセスください  
([https://iact.kuhp.kyoto-u.ac.jp/researchers\\_and\\_companies/venture](https://iact.kuhp.kyoto-u.ac.jp/researchers_and_companies/venture))

初回  
ヒアリング

- 相談申請フォームに相談内容等を入力ください

支援計画  
策定

- 相談内容等を検討し、面談実施の可否を判断します
- 面談実施の場合は、日程調整を行います

支援  
開始

- 相談内容に応じて専門知識を持つスタッフがチームを組み、  
ハード・ソフト両面の支援提供等を行います

## 5.支援実績例

### オリヅルセラピュティクス 株式会社

- iPS細胞由来の再生医療等製品および革新的なiPS細胞関連技術の社会実装を推進するために設立された、研究開発型ベンチャーです。
- iPS細胞から分化させた、臍島細胞による重症1型糖尿病の細胞治療、および心筋細胞を用いた重症心不全の細胞治療の研究開発を進めています。

弊社の細胞製品の開発において、iACT様には薬事相談や治験計画の立案など、様々な形でご支援をいただいています。AMED橋渡し研究プログラムの申請にもご尽力いただき、無事採択されました。豊富な細胞製品開発のご経験を土台とした有益なご助言は、弊社開発の大きな後押しとなっております。

代表取締役兼CEO  
野中 健史



### トレジエムバイオファーマ 株式会社

- 京都大学高橋克先生(現:大阪北野病院)の研究成果を基に設立された、歯科口腔外科領域の京都大学発創薬ベンチャーです。
- 歯の発生を抑えているUSAG-1に対する抗体によって、本来は退化してしまう歯の芽(歯胚)を成長させることによる歯の再生を目指しています。

歯を再生する新規抗体医薬品の開発において、iACTには産官学連携の要として、行政との折衝、治験計画の立案など、いろいろ細やかな支援をいただいています。AMED橋渡し研究プログラムの申請にもご助力を賜り、採択されました。今秋から臨床第1相試験を開始します。



代表取締役  
喜早 ほのか  
大阪北野病院  
高橋 克

### 株式会社マリ

- ミリ波レーダ生体情報センシング技術を用いて、睡眠時無呼吸症候群の非接触診断・治療機器を開発する京都大学発ベンチャーです。
- ミリ波レーダにより睡眠中に発生する無呼吸や低呼吸をリアルタイムで検出し、検出した無呼吸・低呼吸を解消する機器を開発しています。

睡眠時無呼吸症候群治療機器の探索的治験実施において、iACT様には治験プロトコルの立案やPMDA相談、治験実施等で全面的にご支援いただき、無事治験を完了することができました。お陰様でNEDOディープテック・スタートアップ支援事業(PCACコース)にも採択され、引き続き製品開発に注力しています。



CEO, CTO AND  
FOUNDER  
瀧 宏文

お問い合わせ先:

京都大学医学部附属病院  
先端医療研究開発機構 医療開発部  
メールアドレス:[venture\\_iact@kuhp.kyoto-u.ac.jp](mailto:venture_iact@kuhp.kyoto-u.ac.jp)

